

1. 日本で最初に発行された右の切手はなんと呼ばれているでしょう？

C 龍文切手

最初の切手は、1871（明治4）年に発行されました。明治時代に入りましたが、まだ江戸時代のお金の単位「文」が使われていたため48文、100文、200文、500文の4種類が作られました。向かいあう龍と単位の文から、「龍文切手」と呼ばれています。

2. 現在までに日本で発行された切手は、何種類あるでしょう？

B 約1万1000種

一年に発行される切手の種類は年によって違いますが、たとえば2020年に発行が予定されている切手は44件あり、それぞれに10種～20種あるので、一年でだいたい500種類前後の切手が発行されることとなります。これまで発行された切手について調べるなら、『さくら日本切手カタログ』が便利です。図書館や本屋さんで探してみてください。

3. 「切手」とはどの言葉を省略したものでしょう？

A 切符手形

「切符」や「手形」、そして省略した「切手」という言葉は古くから使われており、お金を預かったことや、受け取ったことを証明する意味があります。前島密は、郵便料金を先に支払ったことを郵便局に証明する紙片として、人々になじみのある言葉だった「切手」を使うことにしたのです。

4. むかし、切手の人気が高まり、多くの人切手を集めた時代がありました。

この時のことをなんと呼んでいるでしょう？

A 切手ブーム

1948（昭和23）年の「見返り美人」の切手発行をきっかけに、最初の切手ブームがおきました。その後も1957（昭和32）年にお菓子のおまけに切手が使われた時や、1964（昭和39）年の東京オリンピック開催の時などに切手ブームが起きました。切手ブームの時は、切手の発売日には郵便局前に切手を買う人の長い行列ができました。

5. 現在発行されている1円切手に描かれているのはだれでしょう？

C 前島密

3の問題で、「切手」という言葉を考えた前島密が、1円切手には描かれています。現在の郵便の仕組みを定めたことから「近代郵便制度の父」と呼ばれています。現在発行されている20種類の切手の中で、人が描かれているのは1円切手の前島密だけです。